

# 3Dプリンタを活用した 資源循環型CFRP成形型

複合材成形型における課題解決や使用後の成形型を素材に戻し資源循環を可能にすることで環境負荷低減を実現します

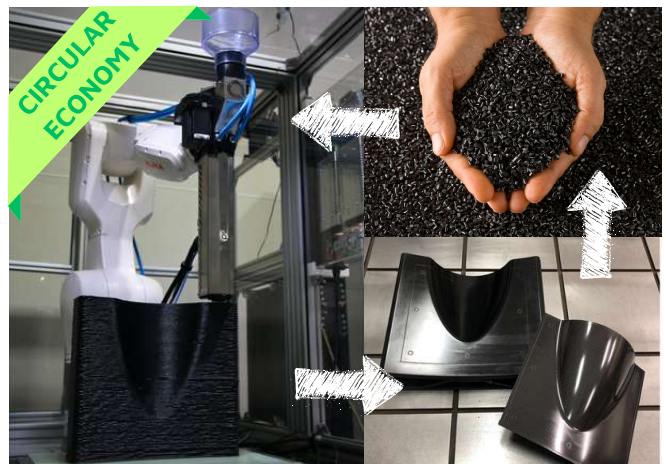
オートクレーブ成形法を始めとするCFRP成形型素材の多くは、切削性や寸法安定性などの特徴から、ケイ酸カルシウムボードを使用しています。一方で使用時にブロック廃材や切削粉・使用後の型素材は、合成樹脂やガラス繊維を含むためリサイクルができず、産業廃棄物として埋め立て処分されています。

また、ケイ酸カルシウムボードは脆い素材であり繰り返し使用するには修正などのメンテナンスが必要となることや断熱素材のために成形時間が長くなることなど製造時の課題も多くあります。

環境負荷低減と生産効率化を目指して、従来のMC加工機による切削加工から3Dプリンタによる造形方式に変更し、成形型製造工程における作業者の介在を減らし、リードタイムの短縮化や使用後の型を再資源化することにより、低コスト化を実現します。

## 主な使用用途

- FRPやCFRP成形用の成形型
- FRP反転型やCFRP反転型製造用のマスター型
- 接着治具や加工治具/検査治具などの治工具
- コンセプト車両などの実製品
- その他：ケミカルボードの代替用途



お問合せ先：株式会社UCHIDA  
<https://www.uchida-k.co.jp/>

TEL:049-274-3030 Mail:contact@uchida-k.co.jp